

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Comfy鹿島校 児童発達支援

公表日 R8 年 月 日

利用児童数 R7 年 3 月

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1			1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1	1	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2				

保 護 者 へ の 説 明 等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1		1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 Comfy鹿島校 児童発達支援

公表日 R8 年 月 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)		5	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	Comfy鹿島校 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	R8年 3月 1日 ～ R8年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日 ～ R8年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の目配りや一日の様子を丁寧に説明している。	清潔で心地よく過ごせる環境の維持を心がけています。	お子様の成長が保護者の方々により伝わるよう、視覚的な方法での共有も検討していきたい。
2	お子さま一人一人の状況に応じた支援。	職員間の共通理解のもとお子様の課題を確認しています。	職員全員が共通の視点でお子さんの課題を見出せるよう、様々な研修に参加しています。
3	毎日の活動内容が固定化しないように工夫している。	活動には目的を決め、そのときどきの状況に適した活動を行っている。	保護者様のニーズがあった場合、それに合わせたプログラムが提供できるよう努めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員それぞれの療育力、専門性の向上など事業所全体で底上げが必要。	お子様それぞれの特性に応じた対応が必要なため、個々の経験や知識によって偏りが見られる。	研修に参加できる機会を増やしていく。 経験のある職員がフォローを行い、チーム全体で支援の方向を検討していくことで質の向上を図っていく。
2	保護者の方々に療育の様子を見ていただく機会が少ない。	お仕事をされている保護者の方が多いので、なかなか療育の様子を見ていただくのが難しい。	定期的に見に来ていただける機会を設けていく。
3	非常災害時対策の周知が不十分なところがある。	職員の出勤時間が同じではないため、避難訓練に参加できる職員が限られてしまう。	シフト調整により全職員が避難訓練に参加できるようにしていく。

事業所名 Comfy鹿島校 放課後等デイサービス

公表日 R8 年 4 月 10日

利用児童数 R7 年 3 月

回収数 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2			・のびのび遊べている印象がある。 ・荷物を置くスペースが広くて子どもが 困らなくていい。活動スペースは学年が 上がっていくと狭く感じそうです。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1	・職員の人数が足りない時には日時の調 整をしてもらえた。適切な対応をとら れている印象を受けた。 ・よく見てくれていると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			1	・用途に合わせて空間の雰囲気づくりを されていて細やかな配慮を感じる。 ・学習する場所、動き回れるスペースな ど分かれている。バリアフリーはわか らない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1			・子ども達が「楽しく過ごしてきた」と いつも聞いている。 ・心地よく過ごせていると思う。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	3	1		2	・柔軟な対応をいただいている。 ・私自身が子の特性について理解しきれ ていない為。ただ子の気持ちに寄り添っ た支援はしてくれていると思う ・親が十分に理解していない所もあり、 どのような支援をお願いして良いかわか らない。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合 っていると思いますか。	4	1		1	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	5	1			・楽しませようと、理解しようと思っ てくれていると思う。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的 な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1		1	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1			・計画書に沿いながら本人に必要な支援 を行ってくださり、臨機応変に対応して くれます。 ・どちらかといえば「はい」。子が環境 の変化だったり落ち着かない時は計画 に沿えない日もあると思うので。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	5	1			・全体的な活動は楽しみにしている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	2	1	1	2	公園や図書館に連れて行って助か ります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	6				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	5		1		・細やかな説明をいただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		3		・たぶん現在は行っていないかと。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	5	1			・些細な内容でもご連絡をくださりま す ・発達の状況については、十分理解で きない所もあり、その都度伝えていき たいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	1		・試行錯誤を繰り返す日々の中で、その 都度助言していただき大変助かってい ます。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				・とても親身になって親子共々支援いただいています。 ・落ち着きがなかったり、度を超えたおかしな行動があっても、よく話を聞きながら寄り添ってくれている。 ・寄り添ってくれていると思う。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	3		3		・今年から妹が参加し、それぞれの支援をしていただいています。 ・状況に合わせ、必要な支援をしていただいている印象があります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4		2		・こちらの無茶なような申し出も、柔軟に対応していただき、迅速に対応していただきました。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1			・いつも気持ちよくご連絡させていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	1			・普段中まで入らないので、製作物など行動の様子がわかって良いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			2	その都度書面でお知らせをもらい把握しています。訓練についてはわからない。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		2	・子ども達も一緒に訓練をするのかなどわかりません。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5	1			・「今日はComfyでこんなことしてきた」と笑顔で話してくれます。 ・子どもの特性上騒がしいことや音を嫌がる為、少し我慢が必要なのか避けた方が良いのか悩ましいです。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6				・「明日Comfyで何やるのかな？」と話してから寝ています。 ・予定を確認して楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	1			・十分すぎるくらい対応していただいています。いつもありがとうございます。 ・長期休みには実家にお迎えに行ってくださる等とても助かっています。 ・いつも気持ちよく対応していただきありがたいです。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		
Comfy鹿島校 放課後等デイサービス		R8 年 4月 10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動内容や実施方法等、常に工夫を行っている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	送迎が重なる時間、一時的に職員数不足を感じる場面がある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	活動の内容に応じて場所が決まっていて、わかりやすく整理されている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個室が1部屋用意されていて、必要があれば簡易のテントもある。気持ちが不安定な際には静養室を使用するよう声掛けを行っている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		連絡帳で周知をはかり、意見交換も子どもの不在時に頻繁に行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		(6)に同じ。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		もう少しあっても良いと思う。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	ツールの使用はない。インフォーマルな形での行動観察は日々行っている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「親族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	該当児がいないため。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	地域の公園では交流あり。フォーマルでは未実施。集団活動に公園遊びを取り入れ、他の地域の子とも接する場面がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	いつ開催されているかわからない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタグラムにて、月ごとの予定や内容を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	1	4	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		

公表

事業所における自己評価総括表 放課後等デイサービス

○事業所名	Comfy鹿島校 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	R8年 3月 1日 ～ R8年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日 ～ R8年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご父兄からの満足度については高い評価を頂けている。	連絡帳は活動の様子がわかりやすいよう毎日写真を添付している。 ご家族から気になる様子があるときは電話での相談も行っている。	引き続き継続していく。
2	自分たちで考え、行動できるような支援をしている。	自分たちでできたことはしっかりと褒め、成功体験につながるよう支援している。	失敗体験をした場合など、ご家庭での様子を確認し、より細かい連携がとれるよう心がけていきたい。
3	個々の発達に合わせた活動を提供している。	お子様の発達に沿った活動を意識して組み立てています。	様々な活動を用意し、分かりやすいルールのもとで体験を通して成長していただけるよう取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員それぞれの療育力、専門性の向上など事業所全体で底上げが必要。	お子様それぞれの特性に応じた対応が必要なため、個々の経験や知識によって偏りが見られる。	研修に参加できる機会を増やしていく。 経験のある職員がフォローを行い、チーム全体で支援の方向を検討していくことで質の向上を図っていく。
2	保護者の方々に療育の様子を見ていただく機会が少ない。	お仕事をされている保護者の方が多いので、なかなか療育の様子を見ていただくのが難しい。	定期的に見に来ていただける機会を設けていく。
3	非常災害時対策の周知が不十分なところがある。	職員の出勤時間が同じではないため、避難訓練に参加できる職員に限られてしまう。	シフト調整により全職員が避難訓練に参加できるようにしていく。